

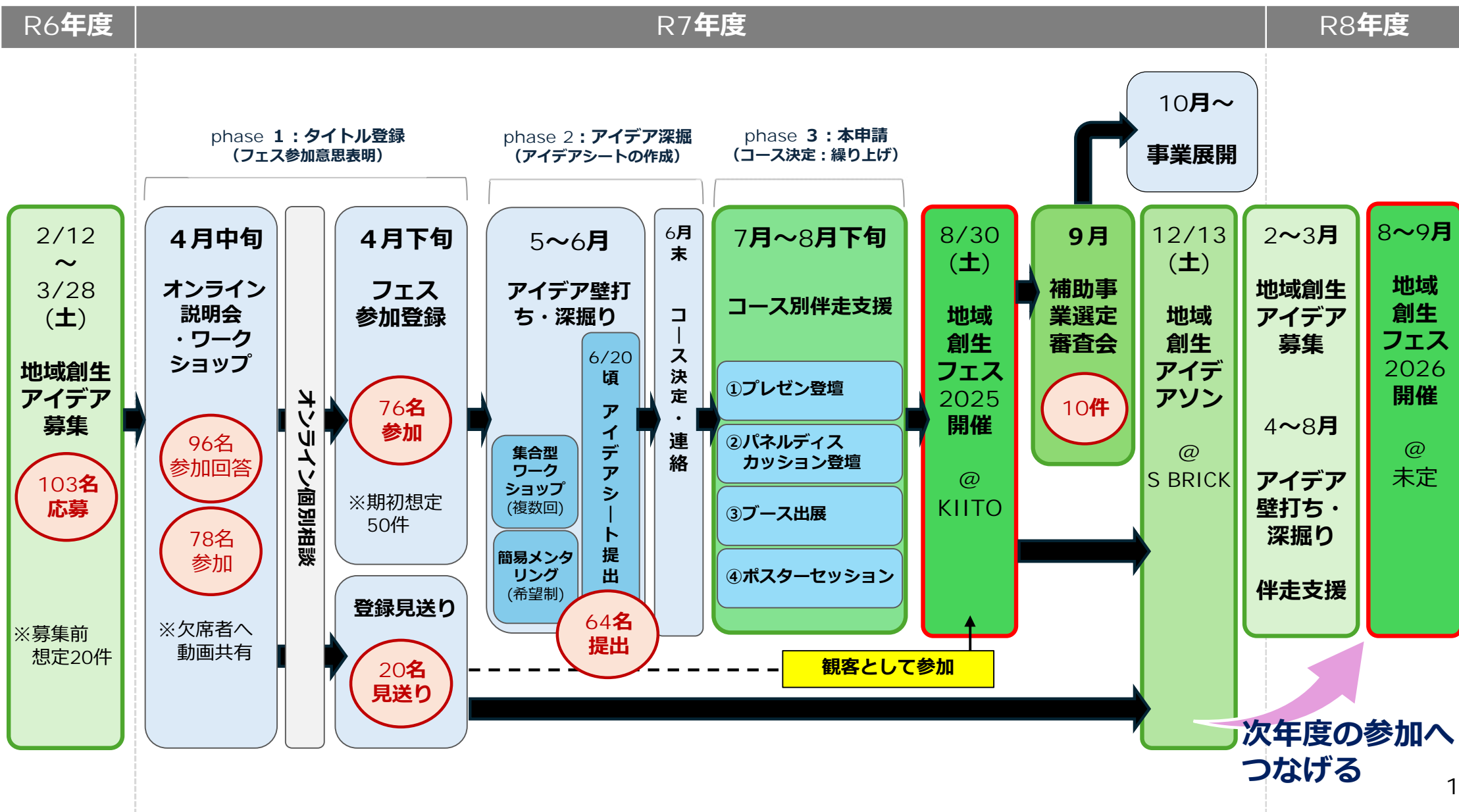
令和7年度 戦略推進プロジェクトの推進状況について

- 1 地域創生コラボレーションプロジェクト 実施状況
- 2 戦略推進プロジェクト 参画事業報告

【参考】 地域創生戦略アクション委員会の年間の進め方

1 地域創生コラボレーションプロジェクト 実施状況

県内で芽生えた地域創生に資する取組を五国に拡げるため、各主体が地域を超えて**交流するプラットフォームを構築**するとともに、**先導的・先駆的取組を公民連携で推進**



1 地域創生コラボレーションプロジェクト 実施状況

地域創生アイデア募集【R6年度に実施】

第三期地域創生戦略の推進及び地域課題の解決につながる取組について、**地域資源（ヒト、モノ、情報等）を活用した先駆的アイデアを募集**

- ・募集期間 R7.2.10～3.28
- ・応募資格 県内在住あるいは活動拠点を有する個人、団体、企業
- ・応募者数（募集締め切り時点） 103名〔神戸 16、阪神 24、播磨 40、但馬 9、丹波 5、淡路 9〕

地域創生アイデアの伴走支援（ブラッシュアップ）

アイデアのブラッシュアップ支援・メンタリング・アイデア発表に向けたコーチング、アイデアの実現可能性を高めるためのマッチング促進等のサポート

- ・地域創生フェス参加登録（アイデアシート作成前）
応募者数 103件 ⇒ 参加登録者数 76名〔神戸 12、阪神 17、播磨 31、但馬 7、丹波 3、淡路 6〕
- ・アイデアシートの作成（オンライン面談、ワークショップ等の**事務局サポートのもと、アイデア壁打ち・深掘り**を実施）
- ・アイデアシート（最終提出者64名）を元にコースを決定
①プレゼン登壇 ②パネル登壇 ③ブース出展（単独・共用） ④ポスター作成（全員）



64名が何らかの形で地域創生フェスに参加、アイデア発表につながった

1 地域創生コラボレーションプロジェクト 実施状況

カケルDAY ひょうご地域創生フェス2025 の開催

カケルDAY

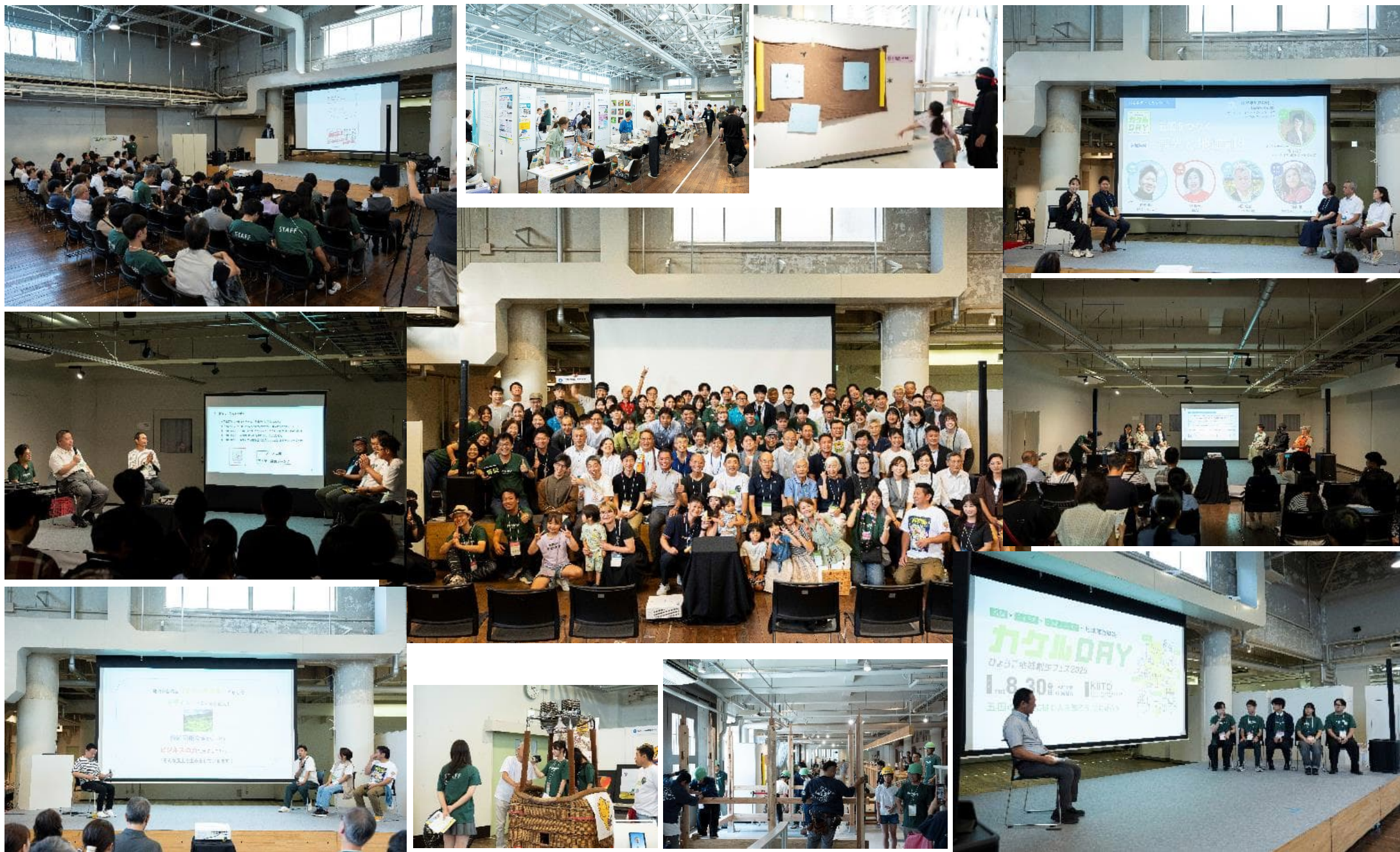
ひょうご地域創生フェス2025



- **日 時** 令和7年8月30日（土）9:30～17:00
- **場 所** KIITO（デザイン・クリエイティブセンター神戸）
- **参加者** 地域創生プレイヤー（アイデア提案者）、自治体職員、企業・団体関係者、一般県民 等
- **来場者数** **約1,000人**
- **目 的** 地域創生のプレイヤーによる活動紹介や市町・団体・民間企業等との交流の場として、**「縁」づくりを促進し新たな価値を生み出す**
- **内 容**
 - ① 地域創生プレイヤーによる活動事例等の紹介
 - ▷ 地域創生コラボプロジェクトに応募した64名の多彩なプレイヤーによる新たな提案や現在の活動事例等を紹介
 - ② プレイヤーと市町・企業等関係団体、一般来場者との交流
 - ▷ ブース出展や交流ゾーン設置により関係者の交流・マッチング機会を創出
 - ③ 地域創生のキーマンによる講演・トークイベント
 - ▷ 著名人のトークショーやアクション委員会委員も参加するパネルディスカッション 等
 - ④ 学生や若者による「カケル隊」を中心とした参加型イベント
 - ▷ 大学生等22名による「カケル隊」がブースを巡り、ワークショップを体験、意見交換

1 地域創生コラボレーションプロジェクト 実施状況

■カケルDAY 当日の様子



1 地域創生コラボレーションプロジェクト 実施状況

■ ステージプログラム：プレゼンテーション

① ご縁を繋げ、可能性を広げる

〈概要〉異なる地域や分野で“**人と人をつなぐ**”活動に取り組む実践者によるプレゼン

浜崎 昌子（（株）伝像ラボ）	【情報発信拠点「どローカルご近所放送局」】
末澤 弘太（（株）マインズ）	【楽しい!お手軽!でも役立つ 体験型避難シミュレーションゲーム】
石井 靖敏（しんぐうNext）	【スローでローカルな「コアキナイ」のすすめ】
横山 哲也（CiPPo（株））	【大人の部活動で地域コミュニティを育む】

② 異なるものを組み合わせることで価値創出

〈概要〉異なる分野・素材等を“**掛け合わせる**”ことで新たな価値を生み出す活動に取り組む実践者によるプレゼン

門脇 規博（朝日織物（株））	【コーヒーノキを使った耕作放棄地の再利用計画】
口銀谷テラス	【今ある資源を最大限に生かして町をもっと楽しく!地域資源の見直しプロジェクト!】
坂東 祐次（LABO/STORY）	【若者世代が紡ぐ持続可能な「村興しプロジェクト」】
神山 華（豊岡市地域おこし協力隊）	【「地域に浸かる」新・湯治プロジェクト】

③ 明るい未来を次世代に

〈概要〉県民誰もが将来への希望を持てる地域の実現に向けて“**未来を切り拓く**”活動に取り組む実践者によるプレゼン

宋 浩典（Social Bridgekabu（株））	【資源循環の文化を創る】
須澤 美佳（（株）ママントレ）	【「当たり前」を変える働き方改革in兵庫県】
河内 太郎（個人）	【HEROES PROJECT誰もがヒーローになれる地方創生】
広瀬 和麿（宍粟市地域おこし協力隊）	【越境型企業研修でつなぐ地域の未来共創事業】



1 地域創生コラボレーションプロジェクト 実施状況

■ステージプログラム：パネルディスカッション



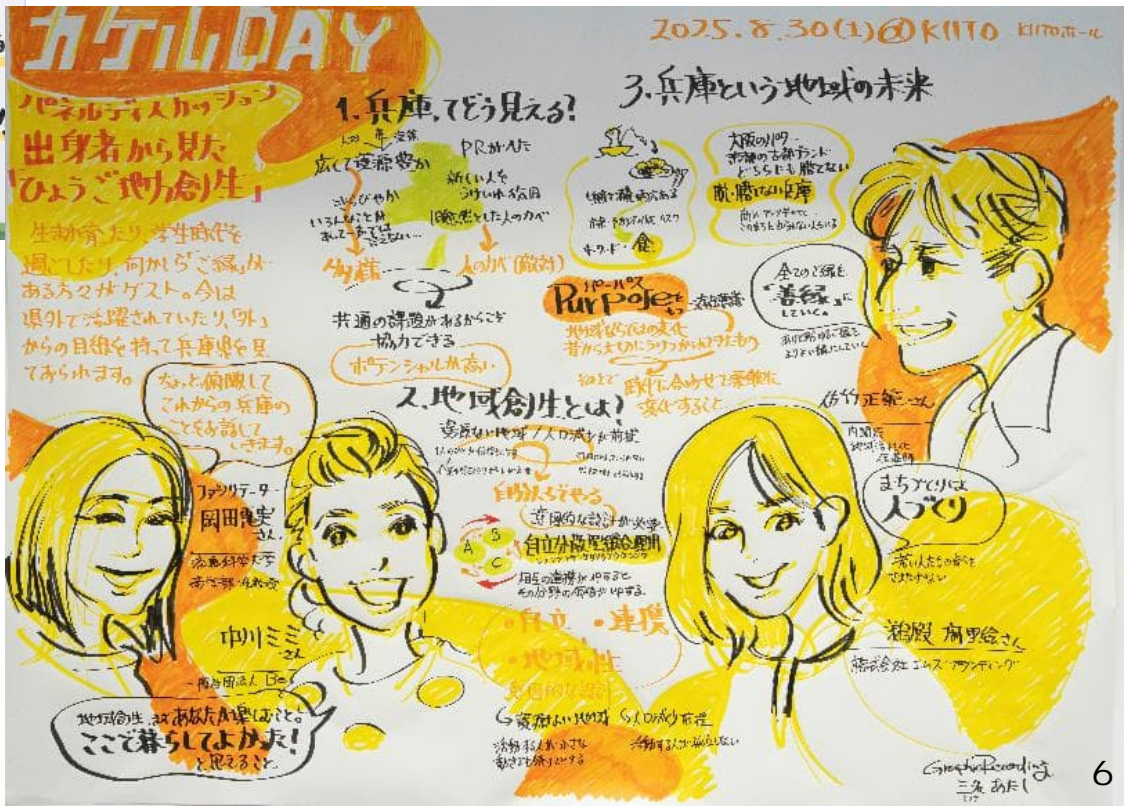
① オープニングセッション「二拠点思考で地域創生」
〈ゲスト登壇者〉指出 一正（「ソトコト」編集長）

二拠点思考という新しい視点から、地域との関わり方や、自分らしい生き方・働き方を紹介

② 出身者から見た「ひょうご地域創生」

〈ファシリテーター〉岡田 恵美（流通科学大学商学部准教授）
〈パネラー〉佐竹 正範（内閣府 地域活性化伝道師）
鵜殿 麻里絵（(株) イムズブランディング）
中川 ミミ（(一社) Be）

兵庫を外から見る視点から、新たな魅力や可能性、課題や足りないものについて語り合う



1 地域創生コラボレーションプロジェクト 実施状況

■ステージプログラム：パネルディスカッション



④ 空き家・空きスペースを地域の宝に

〈ファシリテーター〉 安枝 英俊（県立大学環境人間学部教授）

〈パネラー〉 佐藤 敬生 ((一社) まち・ひと・未来創造研究所)
高橋 壱 (洲本市)
中西 和也 ((一社) はりまのいばしょ)
梶原 暢元 (たどんアート)

空き家や空きスペースを違った目線で捉え直し、地域の宝にしていこうとしているプレイヤーが語り合う

③ 地方創生を地域から問い直す

〈ファシリテーター〉 富田 祐介 (株) システムズ代表取締役

〈パネラー〉 石井 靖敏 (しんぐうNext)
佐々木 なつみ (MarriageSalon7°リム)

県内で活躍するプレイヤーが「地方創生」という言葉の光と影、現場で感じる違和感や本音を語り合う



1 地域創生コラボレーションプロジェクト 実施状況

■ステージプログラム：パネルディスカッション



⑤ 農の新たな可能性

〈ファシリテーター〉 山田 隆大 ((一社) やまとた代表理事)

〈パネラー〉 長田 幸子 (Sky Studio Torako)

小豆 佳代 (レッドビーンズ)

岩崎 達也 ((株) マガザン 心拍事業部)

井上 孝行 (個人)

少子高齢化や担い手不足といった課題の中、農の新しい可能性を地域で奮闘している実践者が語り合う

⑥ 五国をつなぐ観光と地域創生

〈ファシリテーター〉 西山 桃子 ((株) 西山酒造場取締役女将)

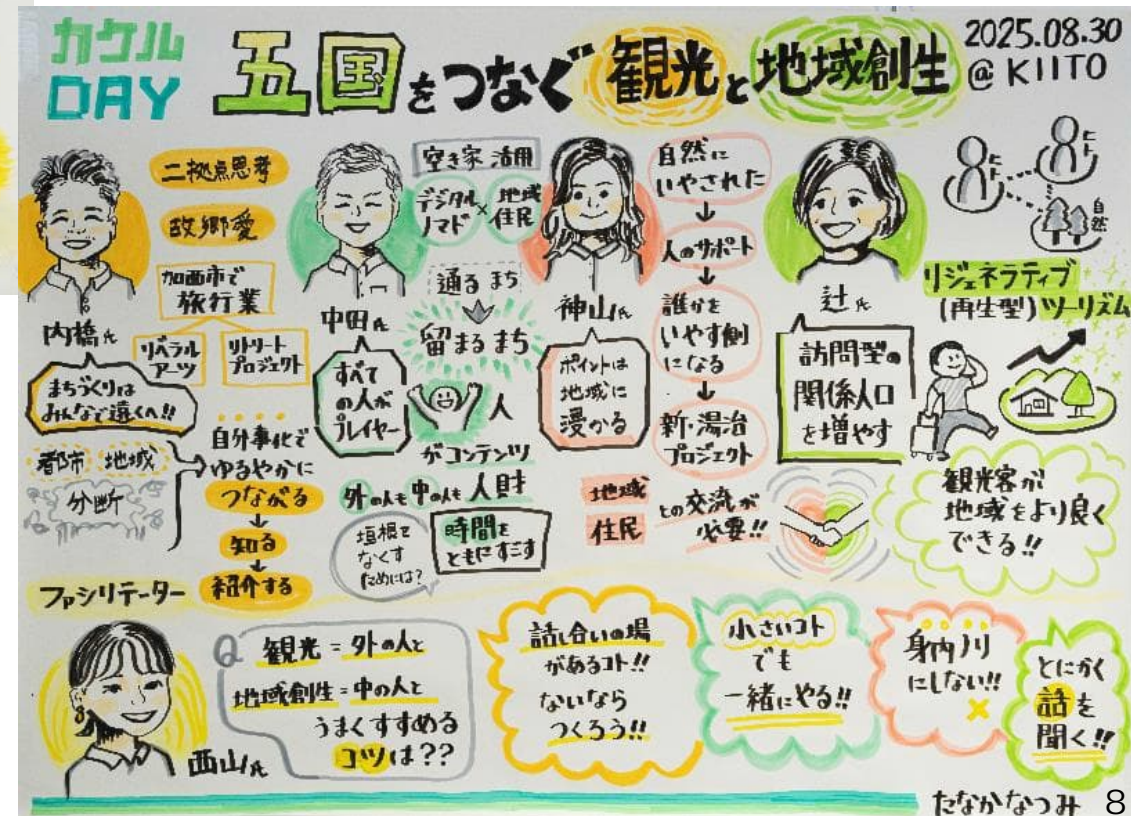
〈パネラー〉 内橋 伸介 (播州ゲートウェイ)

辻 郁子 (個人)

中田 成紀 (マイスタ加古川)

神山 華 (豊岡市地域おこし協力隊)

人の動き・流れを生み出す手段としての観光のこれからと地域創生について語り合う



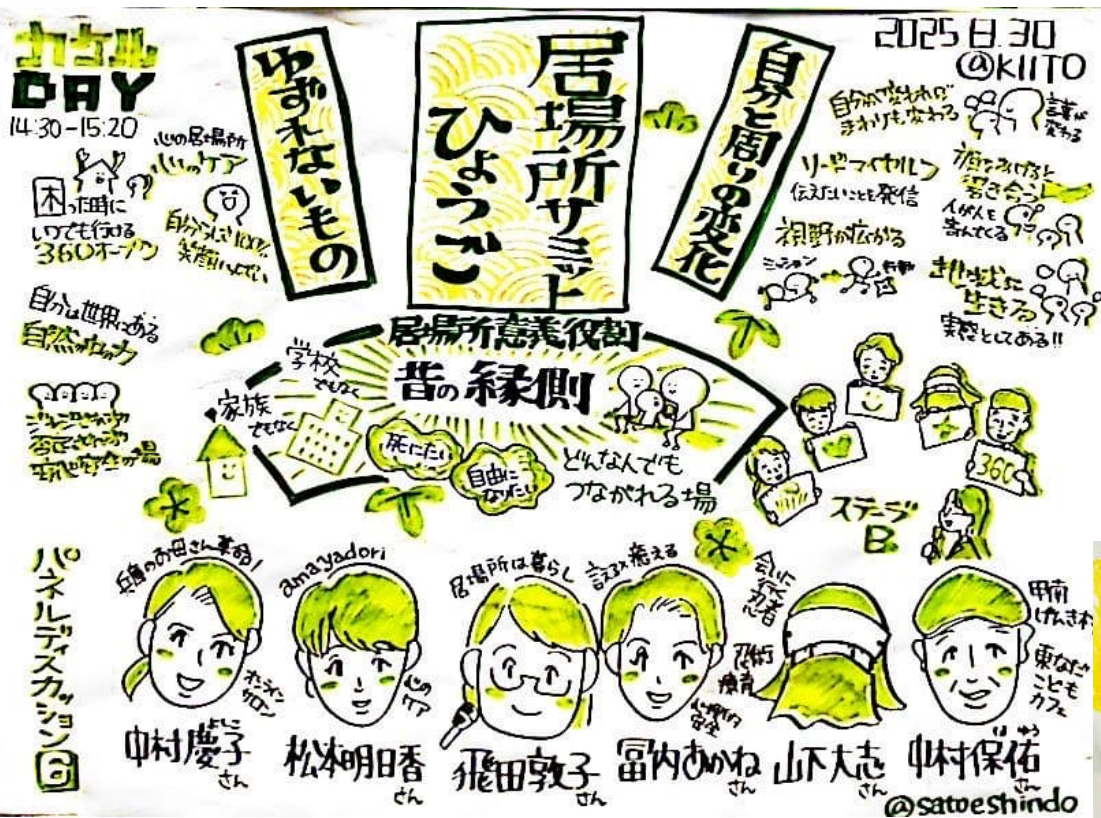
1 地域創生コラボレーションプロジェクト 実施状況

■ステージプログラム：パネルディスカッション

⑦ 居場所サミット ひょうご

- 〈ファシリテーター〉 飛田 敦子 (NPO法人CS神戸事務局長)
- 〈パネラー〉 中村 保佑 (甲南げんき村)
山下 大志 (個人)
富内 あかね (個人)
松本 明日香 (amayadori)
中村 慶子 (個人)

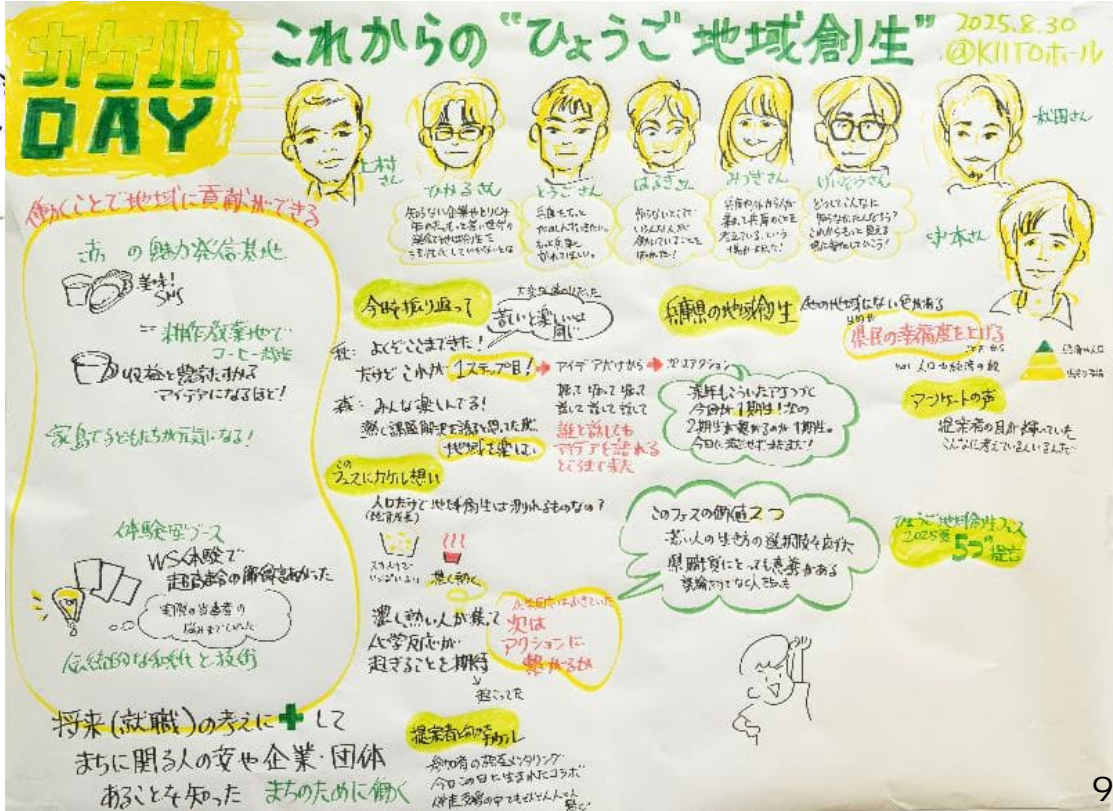
自分らしくいられる「居場所」の現在の課題や今後の展望について居場所づくりの実践者が語り合う



⑧ クロージングセッション 「これからの『ひょうご地域創生』」

- 〈登壇者〉 上村 敏之 (関西学院大学経済学部教授)
秋田 大介 (総務省 地域力創造アドバイザー)
カケル隊 (学生)
守本 企画部長

当日の振り返りや共有、「ひょうご地域創生」の未来に向けたメッセージを発信



1 地域創生コラボレーションプロジェクト 実施状況

■カケルDAY 参加プレイヤー数

64名 [参加形態内訳（重複あり）：プレゼン・パネル登壇 32名、ブース出展 44名
ポスターによるアイデア発表は全員（なお、ポスターのみの参加は7名）]

■マッチング状況（参加プレイヤーアンケート結果抜粋（n=24）、10月16日時点）

問：本プロジェクトを通じて、人と繋がることができましたか？

（1）人と繋がることのできた 20名（83.3%）

[内訳	①フェス当日に「繋がりたい」と思っていた人と繋がれた	⇒	13名 [登壇12、ポスター1]
	②フェス当日に思いがけない人と繋がれた	⇒	14名 [登壇10、ブース3、ポスター1]
	③地域創生コラボ事業全体を通じて人と繋がれた	⇒	14名 [登壇11、ブース2、ポスター1]

※オンラインミーティング、前夜祭 など

※内訳は複数回答可

※参加形態が「登壇・ブース出展」の
両方の場合は「登壇」で計上

（2）全く繋がれなかった 4名（16.7%） [ブース3、ポスター1]

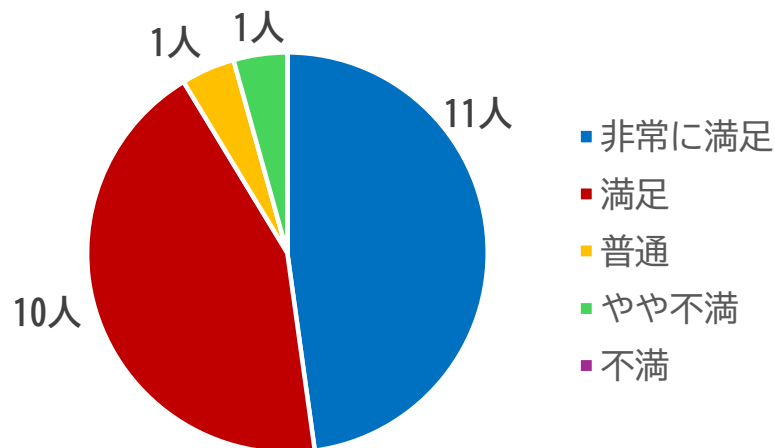
問：具体的に繋がれた方がいれば教えてください

- | | |
|--------------------------------------|-----------------------|
| ○他地域の地域おこし協力隊、理学療法士、ユニバーサルツーリズムに関わる人 | 【地域おこし協力隊/湯治・観光】 |
| ○出展企業（民間事業者）、料理研究家 | 【個人/地域をを活用した地域振興】 |
| ○出展企業（障がい者団体）、同地域で活動する他のプレイヤー | 【個人/農業・地域経済振興】 |
| ○一般来場者（大手酒造メーカー）、県内私立学校 | 【株式会社/コーヒー栽培を通じた経済振興】 |
| ○一般来場者（行政職員、影響力のあるインスタグラマー） | 【個人/観光ツアー開発】 |
| ○同じ問題意識を持つパネル登壇者や専門家 | 【一般社団法人/二地域居住推進】 他 |

1 地域創生コラボレーションプロジェクト 実施状況

■ 来場者アンケート（プレイヤーのみ）結果抜粋（n=23/124、9月2日時点）

問. 本イベントの全体的な満足度を教えてください



非常に満足・満足 21人、やや不満・不満 2人

「普通」「やや不満」の理由の整理

○あくまで中間発表であり、これからのアクションが伴って満足度は上向くと考えています。

○交流ゾーンは少し照明が落とし気味だったので、知人から場所がわからなかったという声が多かった。交流ゾーンがあることに気づかない人が多かったので、スタッフからも誘導するなど工夫が欲しかった。HPの出展者名や当日配布のチラシの名前間違いなどがあった。前日準備が不十分で10時過ぎても配置やディスプレイ作業に追われて、挨拶回りもできないままスタートしてしまった。

「非常に満足」「満足」の理由の整理

- 他の提案者や企業様と交流できました。
- たくさんの人と繋がれました！イベント開催の工夫なども知れて、イベント運営の勉強にもなりました。
- キーパーソンの方々と1日でまとめてお話できたこと。
- 自分のアイデアを周知出来たことと、繋がりが増えた事。また、発表することにより自身の成長を得られたため。
- ①事務局の手厚い伴走、②アイデアを固めるツールの数々、③兵庫各地のプレイヤーとの出会い、④同じエリアの出展者との密な交流、⑤コミュニケーションツールの充実
- 手厚い伴奏支援
- 妄想で終わらせずにアウトプットしたことで、サポートをいただきながら人前で話す機会をいただき、一歩進めることができた。同じ志で取り組みをされている方と出会い交流することができた。リアルな活動の次の青写真が描けたこと。
- プレゼンなどのサポートが想像以上に手厚かったです！
- 異業種交流が興味深かった
- 地域創生アイデアが沢山ある。地域で頑張っている方が沢山いる。
- いろんな考え、活動を知ることができた。
- 当日に沢山の出会いを頂くことができて非常にありがたかったです。
- 今後の活動の展開につながる御縁ができたため。
- いろんな方と出会えました。
- 思いに共感してくださる方との出会いがありました。
- 普段は出会えない県全域で活動する個性的な方に沢山出会えたから。

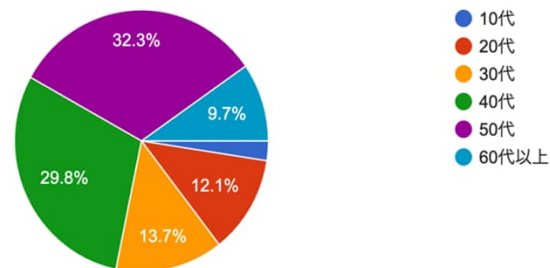
1 地域創生コラボレーションプロジェクト 実施状況

■ 来場者アンケート結果抜粋（n=124（プレイヤー、スタッフ回答を含む）、9月2日時点）

・ 来場者数：入退室数管理システム 1,472名、パンフレット配布数 724/1,000部
 名札回収数 企業・団体 42、行政 62、提案者・登壇者 76、メディア 11、一般 186
合計 377

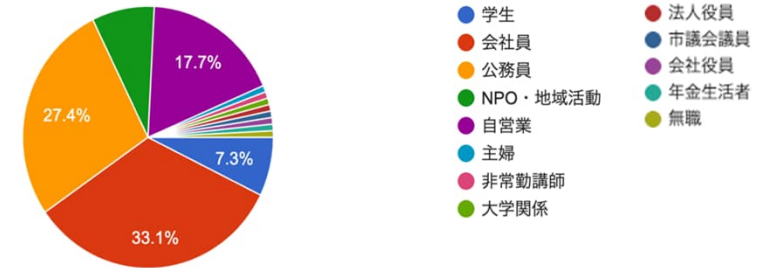
・ アンケート：回答者数 124名 ※プレイヤー、スタッフの回答含む

問. 年代を教えてください



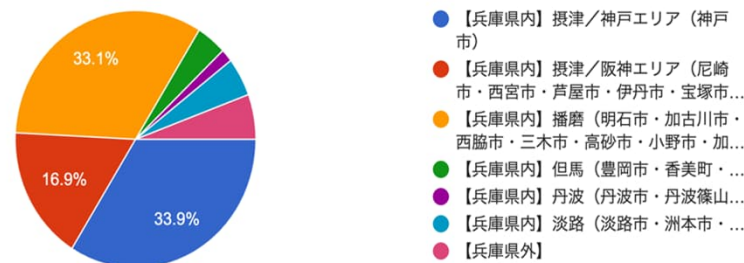
若者・ファミリー層（10～30代）28.2%
 40代 29.8%、50代 32.3%、60代以上 9.7%

問. ご職業を教えてください



会社員 33.1%、公務員 27.4%、自営業 17.7%、
 NPO・地域活動 8.1%、学生 7.3% ほか

問. お住いの地域を教えてください



神戸/阪神 50.8%、播磨 33.1%

問. 参加のきっかけを教えてください

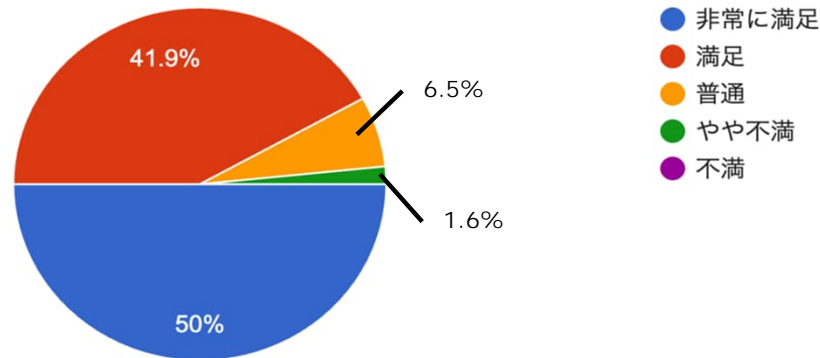


知人の紹介 40.3%、SNS 24.2%、WEBサイト 8.9%

1 地域創生コラボレーションプロジェクト 実施状況

■ 来場者アンケート結果抜粋（n=124（プレイヤー、スタッフ回答を含む）、9月2日時点）

問. 本イベントの全体的な満足度を教えてください



非常に満足 50.0%、満足 41.9%

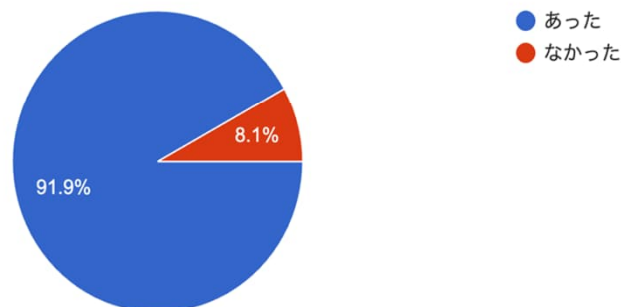
「非常に満足」「満足」の理由の整理

- 「多くの人と繋がれた、交流できた」など、**人的ネットワークの拡大**
- 「県内の色々な活動を知れた」など、**地域創生の活動に触れられた**
- その他、参加体験が楽しめた、学びや新たな気づきにつながった、手厚い伴走支援、フェスの熱量・空気感などに魅力を感じたとの声

「普通」「やや不満」の理由の整理

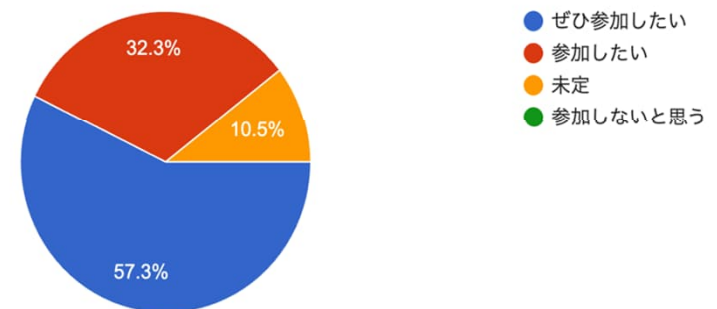
- 「交流ゾーンの場所が分かりづらい」「ブースや備品の準備不足」「ステージ進行・構成の問題」など、**運営・動線面での課題**
- 「一般の方がもっと来てくれるイベントにしてはどうか」「一般参加だったが、次に繋がるようなものは得られなかった」など、**集客・対象参加層に関する指摘**
- その他、ブース配置への不満、関係者多数による不明確さなどの声

問. プレイヤー（イベント参加）との交流の機会がありましたか？



来場者の約9割が様々な主体と交流

問. 次回の開催があれば参加したいですか？



「ぜひ参加したい」「参加したい」89.6%

1 地域創生コラボレーションプロジェクト 実施状況

■上村教授からの提言



ひょうご地域創生フェス2025夏 5つの提言



- 兵庫について考えている人たちが、こんなにたくさん居たことを、初めて知った。
- みんな、兵庫を良くしたい、地域を良くしたい、社会を良くしたいと考えていて、そのために頑張っていることに感動した。
- 本日の地域創生フェスで、楽しい・面白い人に出会い、知り合うことができた。

－5つの提言－

- ① 参加者の皆さんには、本日の地域創生フェスで生まれた「五国のご縁（五縁）」を活かして、それぞれの地域で、これからも兵庫を盛り上げてほしい。
- ② 地域創生フェスは、本日の一回限りで終わるべきではなく、「五国のご縁（五縁）」を、次の地域創生フェスでも活かしてほしい。
- ③ 本日の神戸を皮切りに、次の地域創生フェスは、他の五国でも開催してほしい。
- ④ 本日の参加者のみなさんには、「ひょうご地域創生キャラバン隊」を結成していただき、次の地域創生フェスで、その時点の取組がどうなっているのか、その進捗と将来ビジョンを報告してほしい。
- ⑤ 本日の地域創生フェスから、兵庫五国の共創を加速し、「幸せ先進県・兵庫」を目指してほしい。

1 地域創生コラボレーションプロジェクト 実施状況

地域創生コラボレーションプロジェクト補助事業

地域課題の解決や地域創生に資する先導的・波及的取組の実現化に必要な経費の一部を補助することで、事業展開を促進し、地域の活性化につなげる

【採択状況】

- ・ 申請者数 26件 [分野] 産業・農業・環境 4、学びの場 3、居場所づくり 5、観光 6、防災・まちづくり 1、情報発信 2、働き方 2、文化・スポーツ 2、公民連携 1
↓
[活動地域] 神戸・阪神 10、播磨 13、但馬 1、丹波 2 ※淡路は0
- ・ 採択件数 10件 [分野] 産業・農業・環境 2、学びの場 2、居場所づくり 2、観光 2、防災・まちづくり 1、文化・スポーツ 1
[活動地域] 神戸・阪神 3、播磨 5、丹波 2

①補助対象者

- ・ 地域創生アイデア募集期間にプレエントリーし、地域創生フェス2025 において地域創生アイデアを発表（形式は問わない）し、選定審査会において採択された個人・団体・企業等

②補助対象事業

- ・ 第三期地域創生戦略の推進および地域課題の解決につながる取組について、**地域資源（ヒト、モノ、情報等）を活用した先駆的なアイデア**であること、**他のプレイヤーとのコラボレーションにより相乗効果が期待できる**こと、また、アイデアの**対象エリアは兵庫県**とすること

③補助率・補助（限度）額

- ・ 補助対象経費の2分の1以内（1申請者あたり上限50万円）

④補助対象期間

- ・ 交付決定日～R8.3.13まで ※期間内に経費の支払いを完了している必要あり

1 地域創生コラボレーションプロジェクト 実施状況

地域創生コラボレーションプロジェクト補助事業

○採択事業一覧

事業者	分野	事業概要	連携先とのコラボ内容
レッドビーンズ 【丹波】	産業・農業・環境	生産農家と農産加工所のマッチングを通じて、新たな商品の開発や販路開拓につなげる	事業の共同実施
(株) マガザン 【播磨】	産業・農業・環境	農泊専用施設を拠点とした交流型ツーリズムを通じて、地域資源を活用し、複合的な価値創出につなげる	事業の共同実施
(一社) Sasabase 【神戸・阪神】	学びの場	空き家等の未活用資源を活用して様々な主体が様々なことを学びあう拠点を設置することで、地域内外の人が関わりあえる循環型の地域づくりの実現を目指す	機材等の提供、事業の共同実施
ciPPo (株) 【神戸・阪神】	学びの場	同じ地域に住み、同じ趣味を持っている人等が交流できるサードプレイスを提供することで、新たなコミュニティ創出につなげる	企画や運営の共同実施、場所の提供
amayadori 【播磨】	居場所づくり	子育て世代や地域住民が安心して集えるカフェや大人が悩みを語り合えるバーを運営し、世代や立場を超えたつながりを創出する	場所の提供、広報協力
HEROES PROJECT 【丹波】	居場所づくり	スポーツと福祉等を融合させた複合型地域人材育成モデルを構築し、若者の定住促進や就労機会創出等を目指す	事業の共同実施
(一社) 龍野重文重伝 トラスト 【播磨】	観光	地域に根付く食文化と歴史的建造物を結び付けた「たつの発酵マーケット」を定期的で開催することで、観光によるまちづくりを実現	イベント時の人員派遣や場所の提供
マイスタ加古川 【播磨】	観光	地域資源を活かした体験型プログラムによりデジタルノマドを呼び込み、滞在型交流の促進や関係人口の創出等につなげる	事業の共同実施、場所の提供
(株) マインズ 【神戸・播磨】	防災・まちづくり	ショッピングセンター等で実施可能な体験型避難ゲームを活用し、行政・企業と連携して地域防災力の向上を目指す	イベント開催
∞和ールド環イド ∞JAPAN® 【播磨】	文化・スポーツ	日本全国及び東南アジアを中心としたグローバル伝統文化の発信披露、交流など、多様な伝統文化を次世代に伝え繋ぐ取組を実施し、文化芸術の振興につなげる	技術助言

1 地域創生コラボレーションプロジェクト 実施状況

地域創生アイデアソンの実施

- 目的 ①カケルDAYで生まれた「縁」の継続・発展
②アイデア出しから、その具体化・実装化までの一連のプロセスの共有
⇒次年度の地域創生フェスに向けた機運醸成を図る

■日時 令和7年12月13日（土）11:00～17:30

■場所 S BRICK（洲本市塩谷1丁目1-8）

■参加者 ①カケルDAY参加プレイヤー
②カケルDAYに参加できなかったエントリー者
③企業/団体・市町職員、学生等

} 50名程度

■内容

時間	内容	備考
11:00	地域創生アイデアソン 開始	受付 10:30
11:00～11:30	講演『地域創生アイデアのこれから』	
11:30～13:00	アイスブレイク・昼食（グループ別）	グループごとに自己紹介、食事（弁当を用意）
13:00～14:20	グループワーク①：アイデア深掘り	あらかじめ募集した具体性のあるテーマ別に、掘り下げや具体化・実装に向けて議論を行う
14:40～16:00	グループワーク②：アイデア実装に向けて	
16:00～17:00	各グループからの発表	
17:00～17:30	おわりに	当日の総括と今後について

※終了後に懇親会（自由参加）を実施予定

2 戦略推進プロジェクト 参画事業報告

多文化共生社会実務者検討会議（産業労働部）

【外国人「第二のふるさと」プロジェクト】

多文化共生社会実務者検討会議座長 乾 教授との意見交換

〇趣旨

- ・今後増加する**外国人労働者やその帯同家族の生活面における様々な課題への対応を検討**するため、県と市町が取組を協議する場として設置
- ・議論を踏まえ、**市町と連携した事業の実施や県の多文化共生施策への反映を目指す**

〇構成員 〈座長〉 乾 美紀 教授（兵庫県立大学環境人間学部）

〈市町〉市町課長職級職員（神戸市、尼崎市、三田市、加古川市、加東市、姫路市、上郡町、豊岡市、丹波篠山市、淡路市）

〈ワザバー〉三宅 正弘 教授（武庫川女子大学）、兵庫県国際交流協会

〈県〉次長兼国際局長、国際課長、教育委員会事務局人権教育課長

時 期	内 容	発表内容	実施市町※
第1回開催 R7.7.28	情報発信・相談	・ 外国人相談専門窓口の配置 ・ 外国人向け医療制度周知チラシの作成	豊岡市 加東市
	相互理解・居場所づくり	・ ひめじ国際交流フェスティバル ・ ゆかたDEデカンショ祭	姫路市 丹波篠山市
第2回開催 R7.8.26	地域日本語教育	・ 高校生世代の日本語学習教室 ・ 放課後日本語ボランティア派遣事業 ・ 夜間中学を活用した義務教育を受ける機会の提供 ・ 地域日本語コーディネーターの委嘱	神戸市 尼崎市 加古川市 上郡町
	災害支援・共助	・ 外国人防災事業	三田市
第3回開催 R7.11.28(予定)	会議を踏まえた県新規事業案等を共有		

※会議開催時は当該市町が発表内容に係る事例を共有

1 参画日 令和7年10月17日（@県庁2号館5階会議室）

2 参加者 乾 教授、国際課担当職員 [アクション委員会] 上村 委員長、岡本 委員

3 参画内容

① 現状や課題等の把握（地域創生通信インタビュー）

- ・ 多文化共生施策を進めるうえでの課題や現在の取組の詳細性 等

② 多文化共生社会実現に向けた取組と“外国人「第二のふるさと」プロジェクト”について意見交換



乾 教授 略歴

- ◆大阪大学人間科学研究科助教、神戸大学国際交流推進本部特任准教授、京都大学、神戸大学等非常勤講師を経て、現職
- ◆専門分野は多文化共生教育・国際教育協力、外国人児童や帯同家族への支援に関する知見が豊富であることから、行政の多文化共生分野の委員を多数歴任



2 戦略推進プロジェクト 参画事業報告

多文化共生社会実務者検討会議（産業労働部）

【外国人「第二のふるさと」プロジェクト】

市町別外国人人数・人口・外国人比率

地 域	市 町	外国人人数 (人)	人 口 (人)	外国人 比率	地 域	市 町	外国人人数 (人)	人 口 (人)	外国人 比率
神 戸	神 戸 市	60,211	1,490,896	4.04%	中播磨	姫 路 市	14,327	519,096	2.76%
	尼 崎 市	14,437	454,082	3.18%		神 河 町	118	9,626	1.23%
阪神南	西 宮 市	9,044	482,154	1.88%		市 川 町	175	10,153	1.72%
	芦 屋 市	2,115	92,454	2.29%		福 崎 町	566	18,849	3.00%
阪神北	伊 丹 市	3,807	194,782	1.95%	西播磨	相 生 市	636	26,523	2.40%
	宝 塚 市	3,379	220,709	1.53%		た つ の 市	1,108	70,877	1.56%
	川 西 市	1,975	148,840	1.33%		赤 穂 市	556	43,218	1.29%
	三 田 市	1,518	104,710	1.45%		宍 粟 市	377	31,759	1.19%
	猪 名 川 町	231	27,787	0.83%		太 子 町	399	32,869	1.21%
						上 郡 町	253	12,818	1.97%
東播磨	明 石 市	4,181	306,505	1.36%	但 馬	佐 用 町	300	14,251	2.11%
	加 古 川 市	3,972	254,840	1.56%		豊 岡 市	1,265	72,669	1.74%
	高 砂 市	1,556	84,302	1.85%		養 父 市	149	20,236	0.74%
	稲 美 町	721	29,874	2.41%		朝 来 市	478	26,909	1.78%
	播 磨 町	615	33,669	1.83%		香 美 町	217	14,352	1.51%
北播磨	西 脇 市	818	36,362	2.25%		新 温 泉 町	205	12,119	1.69%
	三 木 市	2,736	71,708	3.82%	丹 波	丹波篠山市	1,113	37,765	2.95%
	小 野 市	1,555	46,176	3.37%		丹 波 市	1,390	58,180	2.39%
	加 西 市	1,689	40,515	4.17%	淡 路	洲 本 市	499	39,151	1.27%
	加 東 市	1,947	39,818	4.89%		淡 路 市	797	40,187	1.98%
	多 可 町	465	17,609	2.64%		南あわじ市	776	41,368	1.88%
計							142,676	5,330,767	2.68%

※外国人人数は令和6年12月末時点

※人口推計は令和7年1月1日時点

出典：出入国在留管理庁「在留外国人統計」

〔参考〕

国の外国人比率

3.04%

2 戦略推進プロジェクト 参画事業報告

ひょうごオープンファーム強化事業（農林水産部）

【ひょうご五国豊穰プロジェクト】

〇趣旨

「ひょうごフィールドパビリオン」の概念を導入した「オープンファーム」の育成による経営の多角化を推進し、都市近郊の立地を活かした収益性・持続性の高い農林水産業や地域活性化を実現

〇ひょうごオープンファームとは

「ひょうごフィールドパビリオン」の概念のもと、①人を地域に呼び込み、②直接「農」を伝えることにより、③農林水産への理解・共感・支持を得、④関係人口創出による、⑤所得向上、地域活性化により、⑥農林水産を次代へつなぐ 取組

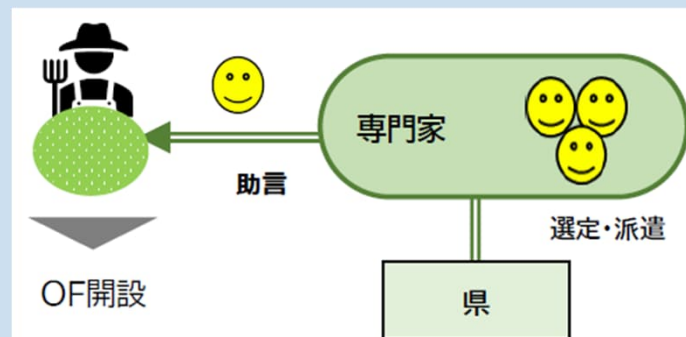
〇ひょうごオープンファーム強化事業

①スタートアップ支援

オープンファームの開設に向けた支援

オープンファームを始めるにあたり、農林漁業者等へのアドバイザーを派遣し、新たなプログラムの開発（「農」への理解を深めるストーリー、来客者目線でのサービスづくり等）の策定を支援

- ア 派遣主体：県（「農」イノベーションひょうご推進協議会）
- イ 派遣対象者：農林漁業者 等
- ウ 派遣費用：無料



②強化支援

オープンファームの取組充実にに向けた支援

農林漁業者等が、オープンファームの強化を図る際に必要となる施設等整備費や利用促進のための活動経費等を支援する

（1）施設強化支援

施設の充実に図るための、トイレや更衣室等の整備に必要な経費を支援

- ア 対象経費：トイレ、更衣室、手洗場、東家 等
- イ 補助金額：補助上限1,000千円
- ウ 補助率：1/2以内

（2）取組拡大支援

事業者が実施する広報やモニターツアー等にかかる経費を支援

- ア 対象経費：HP開設・改修費、動画作成、モデルツアー開催 等
- イ 補助金額：補助上限250千円
- ウ 補助率：1/2以内

2 戦略推進プロジェクト 参画事業報告

ひょうごオープンファーム強化事業（農林水産部）

【ひょうご五国豊穰プロジェクト】

堂阪農園（ひょうごオープンファーム強化事業利用事業者）の現地視察

1 参画日 令和7年10月21日（@紫合農場（猪名川町紫合字西宇田101））

2 参加者 堂阪 博文 氏（堂阪農園代表）



猪名川町にてほぼ家族経営の小さな農園を運営し、二条大麦、落花生、黒枝豆などを栽培。

オープンファームでは、豊かな自然の力を借り、本物の農業体験を通じて、土に触れながら自然を学び、食への価値を考えながら、田畑をコミュニティーの場にできないか試行錯誤中。



総合農政課職員、阪神農林振興事務所職員、猪名川町職員

〔アクション委員会〕 桂 委員



3 参画内容

- ① DOHSAKAFARMの紫合農場を現地視察（農業体験）
- ② オープンファームの取組や今後の“農業の可能性”などについて意見交換

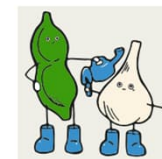
○視察先：DOHSAKAFARM（堂阪農園）

○所在地：兵庫県川辺郡猪名川町原 字湯屋向258-3

○農園の特徴：

- ・元高校教師が、教え子とともに耕作放棄地の再生と農業の未来を考えて立ち上げた専業農家
- ・ひょうごフィールドパビリオンに登録（リアルな農業体験）

○堂阪農園HP：<https://dohsakafarm.com/>



兵庫県地域創生アクション委員会 設置 ※年度ごとに設置

年度当初 **第1回アクション委員会**



- ✓ 当該年度に参画する戦略推進プロジェクト構成事業及び広報・プロモーション事業に関する意見交換

適宜

戦略推進プロジェクトへの参画（現場視察、意見交換 等）

- ✓ 戦略推進PJ構成事業に現場視察など様々な形で参画し、関係者や職員と意見交換等を実施
- ✓ 地域創生コラボレーション事業（地域創生フェス等）への積極的な参画を通じて、地域創生マインドの普及促進

10月頃 **第2回アクション委員会**



- ✓ 当該年度の戦略推進PJの構成事業及び広報・プロモーション事業の実施状況の中間報告
- ✓ 翌年度の戦略推進に対する改善点や新たな視点の提案、広報・プロモーション事業に関する助言、意見交換

戦略推進PJのブラッシュアップを繰り返すことで、

戦略の**基本理念の実現**を目指す